

タオルで「絵手紙」 ほのぼのの作品26点

日本有数のタオル産地泉州産タオルを筆代わりに使って描いた絵手紙展「最優秀・優秀作品」が15、16日の両日、熊取町五門西の熊取交流センター煉瓦館で開かれる。全国から寄せられた色彩豊かな心温まる作品26点を展示。入場無料。

泉州タオルを用いた絵手紙コンクールは、安価な輸入品に押されて生産量が減少するなど厳しい環境のなか、産地のPRを通じて地域活性化を図ろうと平成16年から実施。主催の泉佐野市公園緑化協会によると、今年

までの過去3回で計約4300点、各回平均で約1400点の作品が全国から寄せられたという。作品展には初回から3回目までの一般と子供の

各部の最優秀作6点と優秀作17点、審査員の3点を展示。大きさ70センチ×35センチの紙に七夕飾りや果実、農作業などを鮮やかな色彩りで描いている。

会場では来館者がタオルで実際に絵を描く体験コーナーも。同協会では「タオルでなければ表現できない線などが絵の魅力になっている。どの作品も力作揃い」と話している。

また、今年も4回目のコンクール作品を募集している。応募締め切りは来年1月末、一般の部の副賞として最優秀賞(1人)には10万円、優秀賞(3人)は3万円の賞金も。募集規定あり。

作品展、コンクール応募とも問い合わせは、同協会(☎072・475・8700)。

きょうから熊取町で展示



泉州タオルを用いて描いた絵手紙コンクールの最優秀・優秀作品を集めた作品展―熊取交流センター煉瓦館